



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション  
 コード番号 5277 URL <http://www.spancretecorp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯牟礼 聡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 菊池 透

TEL 03-5689-6311

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,403	31.0	△93	—	△82	—	△48	—
27年3月期第2四半期	1,071	△44.0	△198	—	△190	—	31	△86.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△6.31	—
27年3月期第2四半期	4.06	4.05

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	9,939	7,590	76.4	984.74
27年3月期	10,248	7,721	75.3	1,001.67

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 7,590百万円 27年3月期 7,721百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・平成28年3月期の配当予想につきましては、今後の経営環境の推移を見極めた上でお知らせいたします。

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

・現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。業績予想については、今後の経営環境を見極めた上で、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	9,320,400 株	27年3月期	9,320,400 株
28年3月期2Q	1,611,898 株	27年3月期	1,611,898 株
28年3月期2Q	7,708,502 株	27年3月期2Q	7,708,502 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等から回復基調で推移しているものの、円安に伴う輸入価格上昇等の影響により、その回復は緩やかなものとなりました。海外におきましては、米国景気は回復継続のなか、ギリシャ債務問題、中国や新興国での成長鈍化による影響、中東及び東欧における地政学的リスクの高まり等による世界経済の減速懸念があり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

この間、建設業界におきましては、公共投資が底堅く推移する中、人手不足に起因する労務単価の高騰や資材価格の高止まりの影響により厳しい経営環境が続いております。

このような状況下で当社の当第2四半期累計期間の業績は、売上高14億3百万円(前年同四半期比31.0%増)、営業損失9千3百万円(前年同四半期は1億9千8百万円の営業損失)、経常損失8千2百万円(前年同四半期は1億9千万円の経常損失)と増収により赤字幅が減少いたしました。

事業別にみると、主力のスパンクリート事業は、売上数量が前年同四半期比28.4%増加し、売上高は12億6千6百万円(前年同四半期比37.0%増)と増収となりました。利益面に関しましては、営業損失1億3千7百万円(前年同四半期は2億6千7百万円の営業損失)となりました。

他方不動産事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっておりますが、売上高1億3千6百万円(前年同四半期比7.0%減)、営業利益4千6百万円(前年同四半期比35.2%減)となっております。

四半期純損益につきましては、オーストラリアに所有していた福利厚生施設の売却により固定資産売却益3千8百万円を特別利益に計上したものの、4千8百万円の四半期純損失(前年同四半期は3千1百万円の四半期純利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ3億8百万円減少し99億3千9百万円となりました。

流動資産は、2億9百万円減少しておりますが、これは主として、現金及び預金が3億4千7百万円減少、売上債権が2億3千2百万円増加、たな卸資産が5千9百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、9千9百万円減少しておりますが、これは主として、有形固定資産が4千1百万円減少、投資有価証券が6千4百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、1億3千6百万円減少しておりますが、これは主として、買掛債務が3千3百万円増加、短期借入金1億9千万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、4千1百万円減少しておりますが、これは主として、長期借入金が5千万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、四半期純損失4千8百万円の計上、配当金の支払い3千8百万円等により1億3千万円減少し、75億9千万円となり、この結果、自己資本比率は76.4%(前事業年度末75.3%)となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末比3億4千7百万円減少(前年同四半期は1億5千3百万円の増加)して24億9千5百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は7千7百万円(前年同四半期は2億8千2百万円の減少)となりました。

これは主に、減価償却費9千9百万円、たな卸資産の減少額5千9百万円等の資金の増加があったものの、税引前四半期純損失4千4百万円、固定資産売却益3千8百万円、売上債権の増加額2億3千2百万円等の資金の減少が上回ったものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は1千2百万円(前年同四半期は4億9千3百万円の増加)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入6千6百万円等の資金の増加によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は2億8千2百万円(前年同四半期は5千7百万円の減少)となりました。

これは主に、短期借入金の減少額1億9千万円、長期借入金の返済による支出5千万円、配当金の支払額3千8百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。業績予想については、今後の経営環境の推移を見極めた上で、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,557,714	2,210,427
受取手形	428,726	615,324
売掛金	121,767	141,818
完成工事未収入金	183	25,667
有価証券	285,091	285,124
商品及び製品	96,842	57,746
仕掛品	2,259	1,339
未成工事支出金	22,170	425
原材料及び貯蔵品	53,809	55,749
その他	71,077	36,925
流動資産合計	3,639,642	3,430,548
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,364,537	1,315,004
機械及び装置(純額)	109,215	130,944
土地	4,107,941	4,090,740
その他(純額)	112,970	116,581
有形固定資産合計	5,694,663	5,653,270
無形固定資産	95,595	106,357
投資その他の資産		
投資有価証券	765,669	700,963
その他	52,735	48,661
投資その他の資産合計	818,405	749,624
固定資産合計	6,608,664	6,509,253
資産合計	10,248,306	9,939,801
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,190	28,159
工事未払金	40,452	89,585
短期借入金	890,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	101,700	101,700
未払法人税等	-	13,373
賞与引当金	29,900	30,360
工事損失引当金	-	753
その他	166,689	172,571
流動負債合計	1,272,932	1,136,502
固定負債		
長期借入金	355,925	305,075
再評価に係る繰延税金負債	551,377	551,377
その他	346,661	355,954
固定負債合計	1,253,963	1,212,406
負債合計	2,526,896	2,348,909

## (株)パンクリートコーポレーション(5277) 平成28年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,295,900	3,295,900
資本剰余金	3,696,670	3,696,670
利益剰余金	150,407	46,634
自己株式	△370,588	△370,588
株主資本合計	6,772,389	6,668,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	268,379	225,051
土地再評価差額金	680,641	697,224
評価・換算差額等合計	949,020	922,275
純資産合計	7,721,410	7,590,892
負債純資産合計	10,248,306	9,939,801

(株)スパンクリートコーポレーション(5277) 平成28年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,071,345	1,403,013
売上原価	983,167	1,224,256
売上総利益	88,177	178,756
販売費及び一般管理費	286,963	272,452
営業損失(△)	△198,785	△93,695
営業外収益		
受取利息	4,806	4,810
受取配当金	3,465	3,424
仕入割引	2,343	2,918
その他	2,806	5,469
営業外収益合計	13,422	16,622
営業外費用		
支払利息	2,375	3,206
休止固定資産減価償却費	1,410	1,270
その他	1,003	837
営業外費用合計	4,789	5,315
経常損失(△)	△190,152	△82,388
特別利益		
固定資産売却益	243,423	38,331
特別利益合計	243,423	38,331
特別損失		
固定資産除却損	13	—
固定資産処分損	—	196
特別損失合計	13	196
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	53,257	△44,253
法人税等	21,972	4,393
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,285	△48,646

(株)スパンクリートコーポレーション(5277) 平成28年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	53,257	△44,253
減価償却費	68,280	99,214
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,760	460
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△700	△350
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	753
受取利息及び受取配当金	△3,754	△3,537
有価証券利息	△4,518	△4,697
支払利息	2,375	3,206
固定資産売却損益(△は益)	△243,423	△38,331
売上債権の増減額(△は増加)	△129,845	△232,132
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,677	59,820
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△3,610	32,412
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,050	33,101
その他	△896	515
小計	△221,448	△93,817
利息及び配当金の受取額	8,254	8,215
利息の支払額	△2,346	△2,971
法人税等の支払額	△66,688	△6,068
法人税等の還付額	—	20,464
役員退職慰労金の支払額	—	△1,500
完成工事臨時補修費用の支払額	△588	△2,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	△282,817	△77,836
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	600
有形固定資産の取得による支出	△22,852	△59,434
有形固定資産の売却による収入	554,308	66,337
無形固定資産の取得による支出	△33,078	△25,040
長期貸付金の回収による収入	3,844	1,659
長期預り敷金の返還による支出	△24,694	△10,278
長期預り敷金の受入による収入	14,383	38,794
その他	1,372	151
投資活動によるキャッシュ・フロー	493,282	12,790
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	400,000
短期借入金の返済による支出	—	△590,000
長期借入金の返済による支出	—	△50,850
配当金の支払額	△54,086	△38,487
リース債務の返済による支出	△2,988	△3,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,075	△282,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	767
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	153,453	△347,253
現金及び現金同等物の期首残高	3,050,472	2,842,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,203,925	2,495,552

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	924,678	146,666	1,071,345	—	1,071,345
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	924,678	146,666	1,071,345	—	1,071,345
セグメント利益又は損失 (△)	△267,124	71,754	△195,370	△3,414	△198,785

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,414千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,414千円であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,266,579	136,433	1,403,013	—	1,403,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,266,579	136,433	1,403,013	—	1,403,013
セグメント利益又は損失 (△)	△137,524	46,510	△91,013	△2,682	△93,695

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,682千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,682千円であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。